

ご質問

お名前 青山 学

問1 あなたが最も解決する必要があると考える庄原の課題は何ですか。

庄原市の課題は多くありますが最も解決すべきことは、徐々に悪くなっている環境を受け入れている、半ばあきらめの意識が今の庄原市全体に感じます。その意識改革が最も解決する課題だと考えます。
中でも、今現在の安心のために重要な「救急」、現在から未来に向けての「防災」、そして未来のため重要な「教育」、この3点は、少子高齢化問題もある庄原市があきらめではいけない点です。
災害が起きた際に「正常性バイアス」という危険なものがあります。危険な状態であっても「自分は大丈夫だろう。どうにかなるだろう。」と、危険を過小評価してしまう状態です。今の庄原市の危険を過小評価し、どうにかなるといった意識の改革が必要です。

問2 上記問1で答えた課題の解決に向けてどの様に取り組んでいきますか。

私は上記の問題解決に対して「多角的に見た意見」と「前例にこだわらない」取り組みで解決していきます。大丈夫だと考える事であっても、違う人間が見れば危険な状態になっている、またはその逆もあります。
経験談を出せば、庄原保育所の保護者会役員の廃止を提案しています。2期連続で保護者会長を務め、来期の会長を選ぶ際に、「今までの人もやってきたのだから次の人も・・・」と、無意識に負担を強いることが当たり前とする風潮でしたが、役員の負担が大きいとの意見から、行事に支障が出ないか等を議論したうえで役員の廃止を提案しました。
保育所の役員廃止は小さな事かもしれませんが、上記のような「多角的に見た意見」を聞き「前例にこだわらない」取り組みで庄原市の課題解決に取り組みます。

問3 なぜ、市議会議員を志されたのかを教えてください。

きっかけは娘が利用していた放課後児童クラブのトイレ問題でした。休所中の保育所を児童クラブとして利用していたため、小学生が狭いトイレを男女兼用で使う状態でしたが、この状態を改善するのに2年以上かかりました。当時小学校のPTA副会長でありながら、子どもの環境に対して自分がいかに無関心だったかを痛感しました。それからいかに庄原市の環境を良くするかを考えたときに、消防署で救急救命士として働いていくよりも、市議会議員として同世代の声や、救急現場で目の当たりにしていた課題点の改善などに目を向けて庄原市を変えていく事が、我が子だけでなく多くの子どもや、庄原を住みやすくする一つの手段になると思い立ち、市議会議員を志しました。
--